

2018年12月20日

各 位

株式会社 みなと銀行

みなと地域貢献寄付型ファンド『神戸市とともに』の取扱開始について  
～みなと銀行20周年記念事業～

関西みらいフィナンシャルグループの みなと銀行（頭取 服部 博明）は、神戸市と締結しました連携協定に基づく事業の一環として、2019年1月4日より「みなと地域貢献寄付型ファンド『神戸市とともに』」の取扱いを開始することといたしましたのでお知らせします。

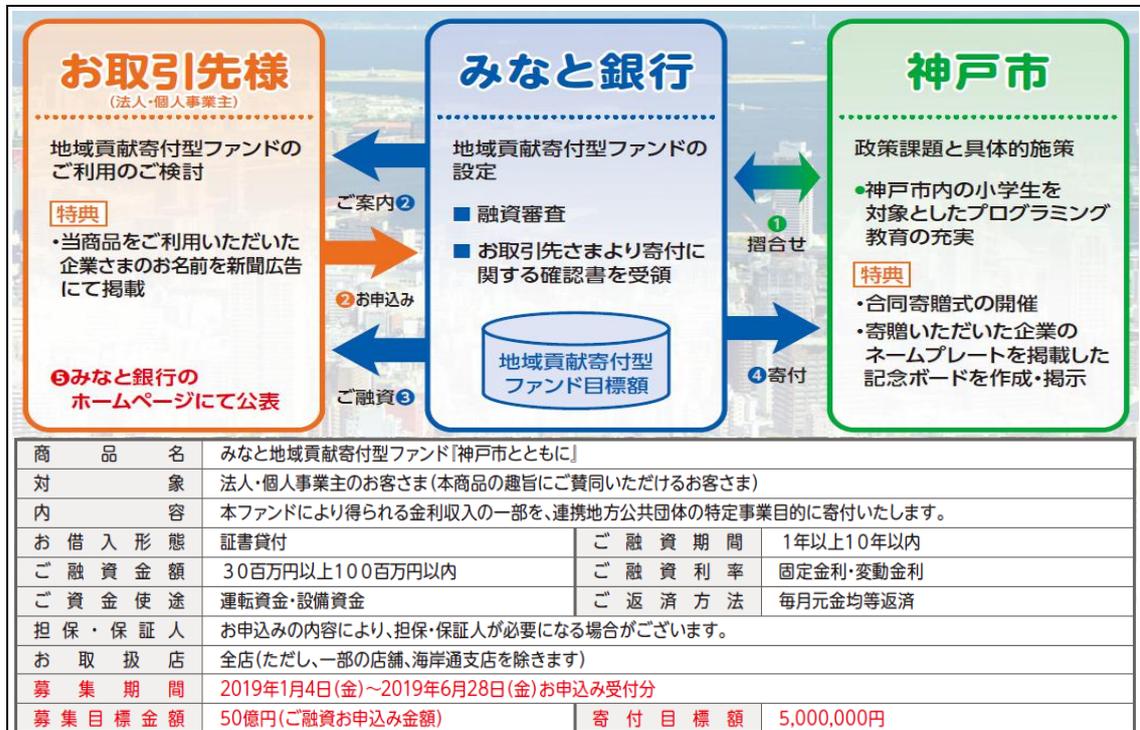
神戸市は、地方創生の主要施策として、市内小学校を対象に「プログラミング教育の充実」を掲げています。本ファンドは、その施策の趣旨にご賛同頂ける法人・個人事業主を対象とした融資商品で、当行は、取扱（融資）額が目標に達した段階で、金利収入の一部を神戸市に寄付いたします。（目標額：融資50億円、寄付金500万円）

寄付金は、神戸市内の小学校にICT環境を整備し、教育の情報化を推進するための施策に活用される予定です。

尚、当行が2016年7月より取扱う地域貢献寄贈型私募債「あゆみ」は、発行体企業の社会貢献をサポートする商品で、既に取扱額は240億円を超え、延べ261機関に対して備品等を寄贈いたしました。

みなと銀行は、今後も地域の皆さまへの様々な金融・情報サービスの提供を通じて、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

【商品概要について】



以 上

みなと地域貢献寄付型ファンド

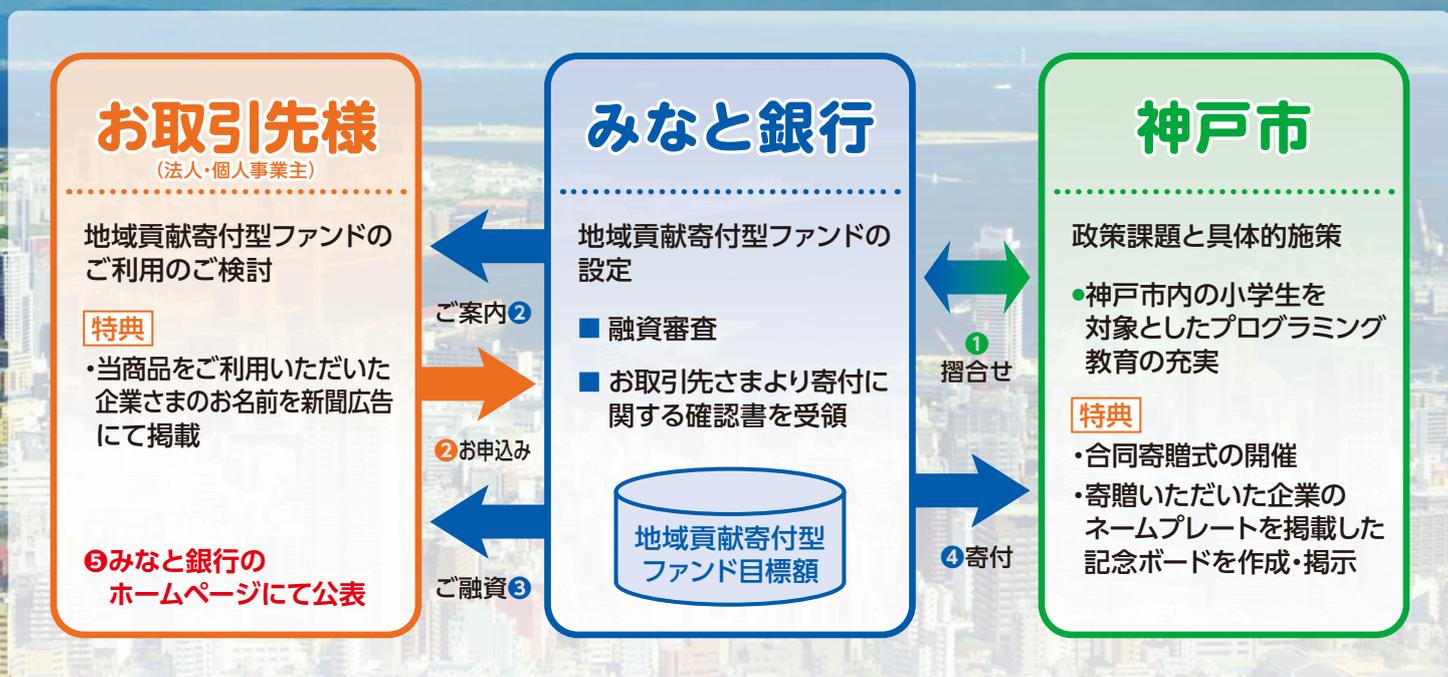
# 神戸市とともに

神戸市の施策内容:市内の小学生を対象としたプログラミング教育の充実 ※詳細は裏面をご参照ください

みなと銀行では、兵庫県内の地方公共団体と連携し、地域の活力維持、一層の経済発展に向けて様々な取組を進めております。

このたび、神戸市との連携のもと、「みなと地域貢献寄付型ファンド ～神戸市とともに～」の取扱を開始しました。当商品のご利用により当行がいただきます金利収入の一部を、目標額に到達した段階で、神戸市の施策の事業費として、企業・事業者さまのお名前を添えて、寄付させていただきます。

神戸市の施策にご賛同いただける企業・事業者のみなさまの積極的なご利用をお待ちしております。



商 品 名	みなと地域貢献寄付型ファンド「神戸市とともに」		
対 象	法人・個人事業主のお客さま(本商品の趣旨にご賛同いただけるお客さま)		
内 容	本ファンドにより得られる金利収入の一部を、連携地方公共団体の特定事業目的に寄付いたします。		
お 借 入 形 態	証書貸付	ご 融 資 期 間	1年以上10年以内
ご 融 資 金 額	30百万円以上100百万円以内	ご 融 資 利 率	固定金利・変動金利
ご 資 金 使 途	運転資金・設備資金	ご 返 済 方 法	毎月元金均等返済
担 保 ・ 保 証 人	お申込みの内容により、担保・保証人が必要になる場合がございます。		
お 取 扱 店	全店(ただし、一部の店舗、海岸通支店を除きます)		
募 集 期 間	2019年1月4日(金)～2019年6月28日(金)お申込み受付分		
募 集 目 標 金 額	50億円(ご融資お申込み金額)	寄 付 目 標 額	5,000,000円

※商品のご利用に際しては当行所定の審査がございます。審査の結果によっては、ご希望に添えない場合がございますのでご了承ください。  
 ※金融環境の変化等により、商品の取扱内容を変更または中止させていただく場合がございます。  
 ※商品の内容、ご利用の詳細につきましては、お取引店、または最寄りのみなと銀行の本支店までお問い合わせください。

## 市内の小学生を対象としたプログラミング教育の充実

神戸市では、2020年度より全国の小学校において必修となる「プログラミング教育」をより効果的に実施するため、必修化に先駆けて、**プログラミング教育で活用できる教材の導入**を検討しています。



2017年3月に文部科学省が定めた新学習指導要領が告示されました。IT人材の育成を目的とし、子どものうちから「**プログラミング的思考**<sup>\*1</sup>」を育むため、2020年度より、「**プログラミング教育**<sup>\*2</sup>」が全国の小学校において必修となります。

### ※1 プログラミング的思考

自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力。

### ※2 プログラミング教育

子供たちに、コンピュータに意図した処理を行うように指示することができるということを体験させながら、将来どのような職業に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる力としての「プログラミング的思考」などを育成するもの。

参照：小学校プログラミング教育に関する概要資料(文部科学省ホームページより)

## 神戸市が目指す「教育モデル」



### 協定内容

神戸市とみなと銀行とは、次の事業について、連携・協力して取り組むこととしています。

- ① 神戸市内企業の活性化に資する事業
- ② 神戸市内における雇用・就労促進に資する事業
- ③ 成長産業・次代の基幹産業の発展に資する事業
- ④ 国際・観光都市としての神戸市の魅力向上に資する事業
- ⑤ その他産業振興に資する事業

神戸市とみなと銀行は、2018年4月に、産業振興での連携・協力をより深化させ、神戸経済の活性化を図るため、「産業振興にかかる連携協力に関する協定」を締結しています。